



外国出張報告書

平成 27 年 11 月 16 日

1. 出張国名 ウズベキスタン
2. 出張月 平成 27 年 9 月～10 月
3. 出張目的 土壌カラム試験の実施、センサーデータの回収：A

4. 成果の概要

シルダリア州ミルザボード地区の現地圃場には土壌深度 30 cm 近辺に硬盤層があるのが一般的であり、この硬盤層を破碎することで作土層の過剰な塩類を効率的に溶脱除去できる可能性がある。硬盤層の有無それぞれの条件で土壌カラムによる溶脱試験を行った結果、硬盤層有の場合は硬盤層を境にリーチング水の下方浸透は緩慢で除塩効果が低いが、硬盤層無の場合は、溶脱水の下方浸透に伴い土壌内の塩分は概ね排除された。ヤングバッド水利組合の排水ブロック内に設置している土壌水分・土壌電気伝導度 (EC)・地温観測のためのセンサー (5TE センサー) と地下水位計および地下水 EC 計による観測データを回収した。5TE センサーの校正試験結果から、灌漑期における土壌水分と土壌 EC の変動を推定した。